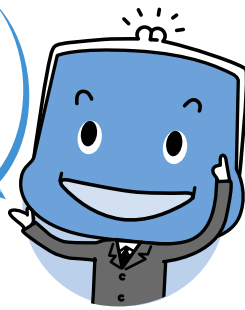


市の財政状況

まずは今の
お財布の状況を
見てみよう



市の財政は
大丈夫？ **今のところ健全ですが
安心はできません**

自治体の財政が良好かどうかを示す「健全化判断比率」は健全な水準を維持。しかし、他の政令市と比べて市税など市が自力で得る収入が少なく、お金の使い道の自由度が低くなっています。

■健全化判断比率（平成24年度決算）

指標	内容	札幌市	早期健全化基準*
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借入金返済額の割合	7.6%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	90.8%	400%

※この基準を超えると健全化に向けた取り組みが必要になります

■財政力指数 0.687

標準的な行政サービスをするためのお金を自ら賄える割合

20政令市中
19位
※政令市平均
0.838

■経常収支比率 94.3%

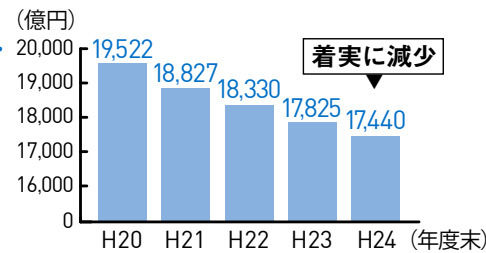
市債の返済など義務的な経費に、市税など経常的な財源が充てられる割合

20政令市中
9位
※政令市平均
94.9%

市債の残高は？ **残高は1兆7,440億円。 9年連続で減少しています**

市債とは市の借金のことです。一般・特別・企業会計の市債残高の合計は、平成23年度末と比べて385億円減少しました。

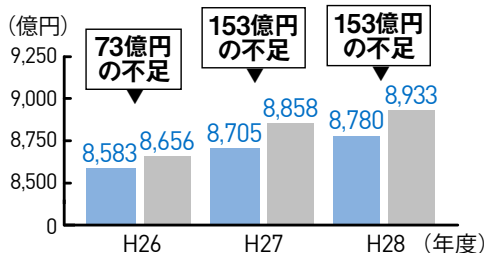
<市債残高の推移>



今後の見通しは？ **歳入は伸び悩み 歳出が増えていく**

市税などの収入は今後も大きな伸びが期待できない一方、医療や福祉などに掛かるお金が増えるため、厳しい状況が続きます。

<今後の財政見通し>



お金が足りない状況が続くため、 市はお金の使い方や集め方を見直しています

市役所内部の努力

事務を効率化するほか、人件費の見直しなどを進めます。

事業の重点化

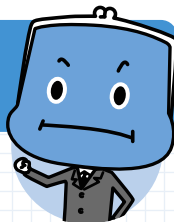
公共事業や臨時の事業は、優先度の高いものから集中的に行います。

サービスの見直し

コストや利用者負担に見合ったサービスの提供を目指します。

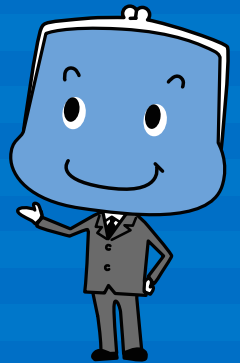
財産の有効活用

今後使う見込みのない市有地の売却を進めます。



さっぽろのお財布事情を公表

紹介します



市では毎年、予算の執行状況や決算について公表し、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお伝えしています。ここでは、市の財政状況や平成24年度決算の概要をお知らせします。

このページに関する問い合わせは、
企画調査課 ☎(21)2216